

平成27年度

事業概要

平成27年4月

国土交通省 中部地方整備局
北勢国道事務所

ミッション（使命）

三重県北勢・
伊賀地域の
安全で円滑な
道路交通を
目指して

北勢国道事務所は、北勢・伊賀地域の道路整備を通して、道路交通渋滞の緩和や道路交通事故の削減等を図り、「活力ある社会」「安全・安心」「生活環境の創造」に貢献します。

道路事業の目標

三重県の北勢地域、伊賀地域は、中部圏と関西圏を結ぶ交通の要となる地域で、産業や観光等が活発な三重県全域を牽引する元気な地域ですが、慢性的な道路交通渋滞や交通事故が多発する地域でもあり、暮らしや経済等に大きな影響を与えています。

この為、それらの解消と更なる発展のために次の三つを目標に定め、この実現に努めます。これにより、三重県の『みえ県民カビジョン』を支援します。

暮らしや産業を支える活力ある社会の形成

都市部に集中する通勤や沿岸部の物流交通等により発生する慢性的な道路交通渋滞を緩和し、活力ある社会の実現に向け、道路ネットワークの構築を効率的に進めます。

- 高規格道路ネットワークの形成
 - ・ 国道475号東海環状自動車道：北勢地域の高速アクセスの向上
- 広域的ネットワークを支援し、都市の骨格となる道づくり
 - ・ 国道1号北勢バイパス：四日市都市圏の渋滞緩和
 - ・ 国道1号関バイパス：亀山IC周辺の渋滞緩和
 - ・ 国道1号桑名東部拡幅：伊勢大橋の架け替えと渋滞緩和
 - ・ 国道258号大桑道路：桑名・大垣間の渋滞緩和

安全・安心できる暮らしの確保

安全・安心な暮らしの実現に向け、交通事故対策や道路施設の耐震強化及び防災対策を進めます。

- 安心・安全な道路づくり
 - ・ 国道25号名阪国道：亀山・伊賀地域の道路交通の安全・安心の向上

質の高い生活環境の創造への支援

歩行者、自転車などの幅広い道路利用者への道路空間を利用した各種サービスの提供及び沿道環境の保全等により、質の高い生活空間の創造を支援します。

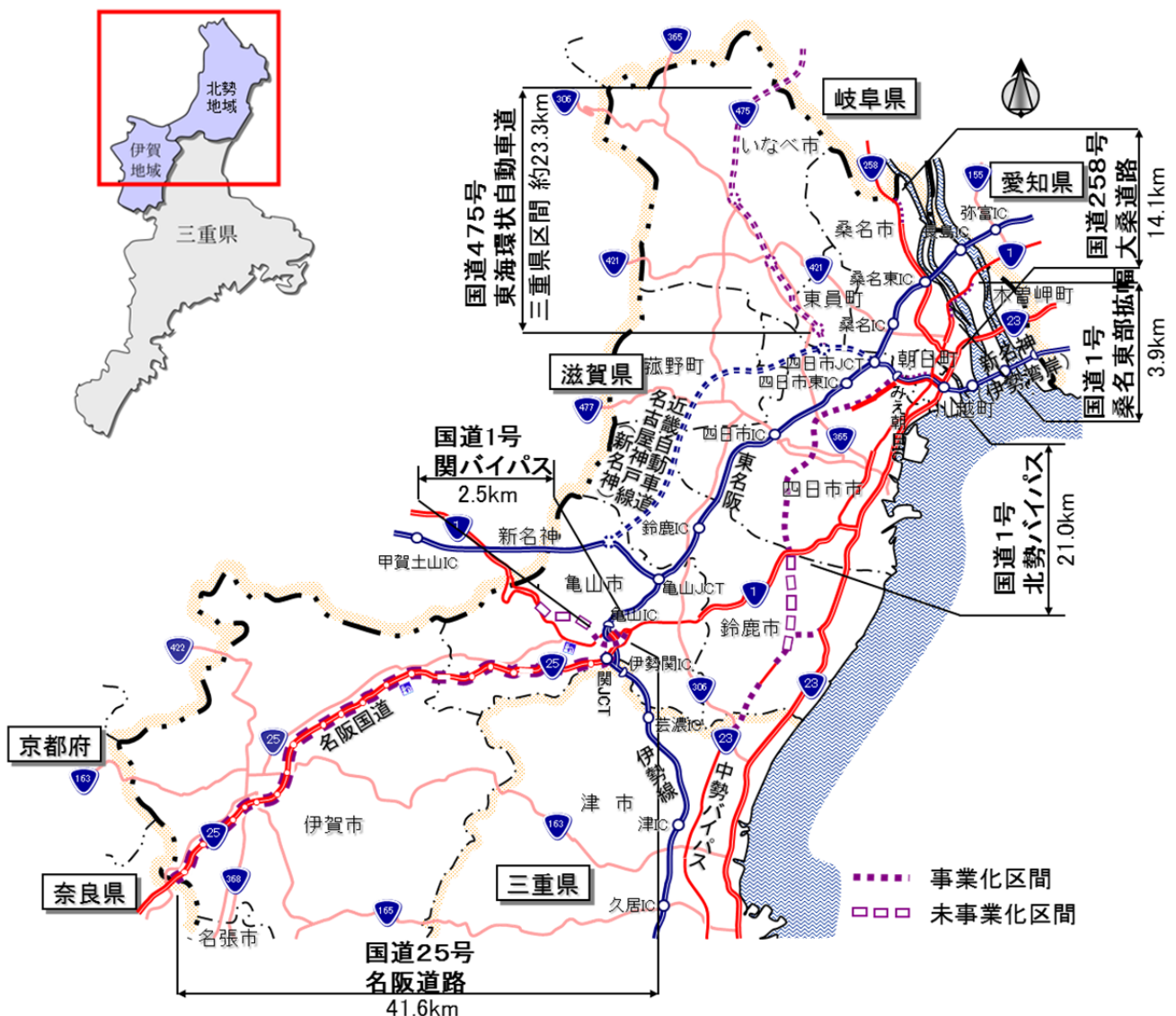
1. 北勢国道事務所の所管

北勢国道事務所は、国道1号、25号、258号、475号の4路線、約106kmの整備事業を担当するとともに、国道25号名阪国道（延長41.6km）の維持管理を担当しています。

広域的なネットワークの形成を図る国道1号北勢バイパスと関バイパスの整備、国道1号桑名東部拡幅、国道258号大桑道路の現道拡幅事業及び高規格道路ネットワークを形成する高規格幹線道路の国道475号東海環状自動車道（三重・岐阜県境～四日市市）の整備・推進を行っています。

交通事故や老朽化する道路施設に対応するため、国道25号名阪国道（三重県区間）の交通安全対策の整備方針に基づいた、インター改良・路肩拡幅等の交通安全対策及び橋の耐震補強等を推進するとともに日常の維持管理、損傷した施設の修繕を行っています。

○ 事業箇所



北勢国道事務所事業箇所

路線名	箇所名	事業延長 (km)	区 間
1号	くわなとうぶ 桑名東部拡幅	3.9	くわなしながしまちようまたぎ きたはまちよう 桑名市長島町又木～同市北浜町
	ほくせい 北勢バイパス	21.0	みえぐんかわごえちようみなみふくさき よっかいちしうねめ 三重郡川越町南福崎～四日市市采女
	せき 関バイパス	2.5	かめやましたいこうじちよう せきちようわしやま 亀山市太岡寺町～同市関町鷺山
258号	だいそう 大桑道路	14.1	くわなしたどちよう ゆい じょうなんいずみ 桑名市多度町柚井～同市城南和泉
475号	とうかいかんじよう 東海環状自動車道 (養老～北勢)	9.0	岐阜・三重県境～いなべ市北勢町
	とうかいかんじよう 東海環状自動車道 (北勢～四日市)	14.4	いなべ市北勢町～四日市市北山町
25号	めいはん 名阪国道 (交通安全関係等)	41.6	かめやましたいこうじちよう いがしはった 亀山市太岡寺町～伊賀市治田

2. 北勢国道事務所の事業費

○ 平成 27 年度事業費

(百万円)

費 目	H27年度当初	備 考
国道1号桑名東部拡幅	3,096	
国道1号北勢バイパス	1,192	
国道1号関バイパス	10	
国道258号大桑道路	160	
国道475号東海環状自動車道	12,778	
国道25号名阪国道 (交通安全関係等)	1,041	

※国道25号名阪国道の維持修繕事業費等は含んでいません。

3. 北勢国道事務所の事業内容

○平成 27 年度の事業内容

桑名東部拡幅 : くわなしながしまちょうまたぎ くわなしきたはまちょう いせ 桑名市長島町又木～桑名市北浜町間の伊勢大橋架替に必要な改良工事、橋梁工事等を推進します。

北勢バイパス : ひながやさと ㊦日永八郷線～国道477号間のトンネル工事、改良工事及び用地取等、よっかいちしうねめ 国道477号～四日市市采女（国道1号）間の調査設計を推進します。

関バイパス : かめやましおのちょう 亀山市小野町～せきちょうわしやま 同市関町鷺山間の道路設計等を推進します。

大桑道路 : くわなしただちょうゆい くわなしただちょうかとり 桑名市多度町柚井～桑名市多度町香取間の、平成27年度4車線化をめざし 目指し、橋梁上部工事及び舗装工事等を推進します。

東海環状自動車道 : とういん 東員IC～しんよっかいち 新四日市JCT間の平成27年度完成4車線開通を目指し、改良工事等を推進。
だいあん 大安IC（仮称）～とういん 東員IC間の平成30年度暫定2車線開通を目指し橋梁上・下部工等を推進。
ほくせい 北勢IC（仮称）～だいあん 大安IC（仮称）間の橋梁上・下部工工事、道路設計等を推進。
ほくせい 県境～北勢IC（仮称）間の用地取得及び埋蔵文化財調査及び、本線改良工事に向けた準備工事を推進します。

名阪国道 : 国道25号名阪国道のインターチェンジ改良工事、登坂車線工事、路肩拡幅工事、安全施設工事等を推進します。
(交通安全関係等)

国道1号桑名東部拡幅

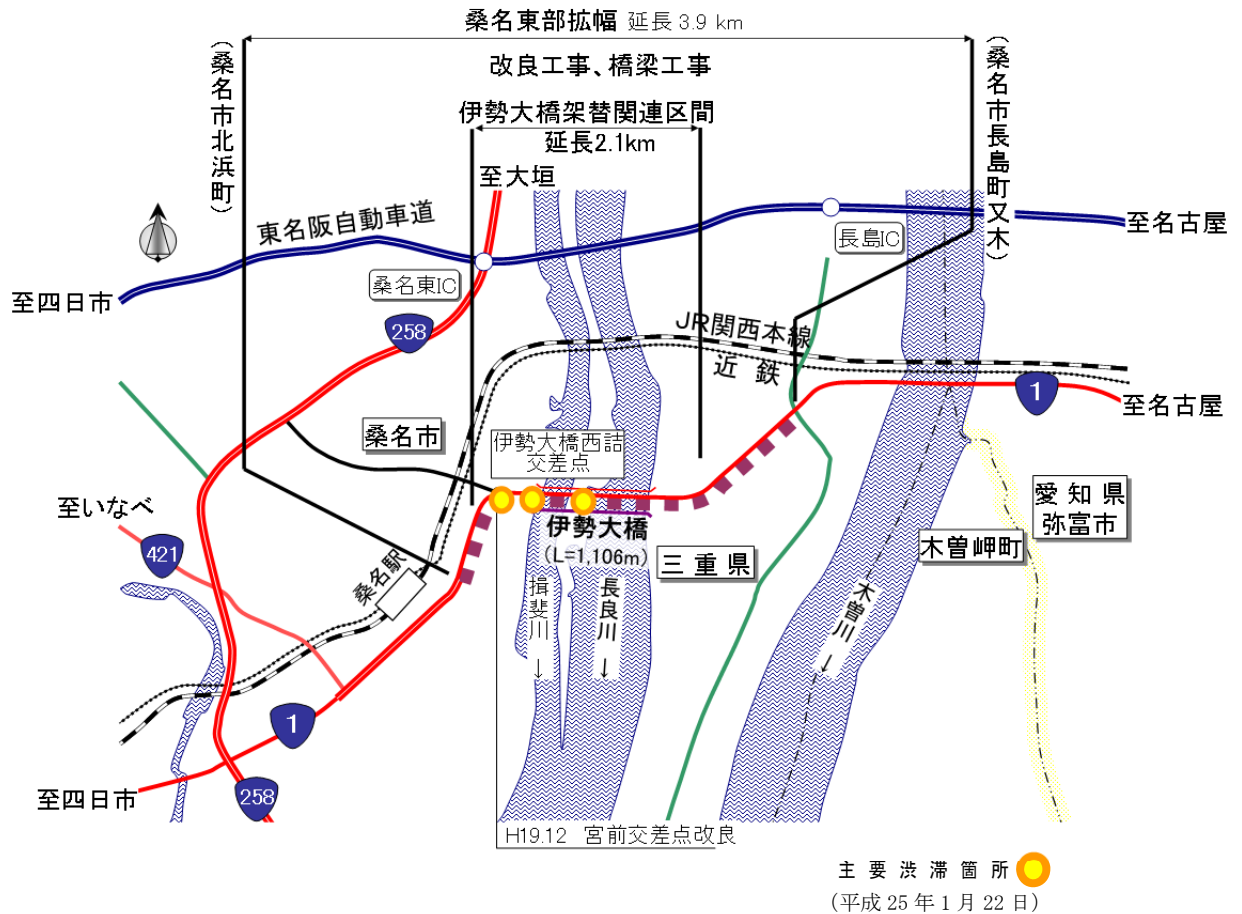
1. 目的

一般国道1号桑名東部拡幅は、現道の4車線拡幅による渋滞緩和、交通安全確保及び昭和9年架橋で老朽化の著しい伊勢大橋の架替を目的に計画された拡幅事業です。

2. 概要

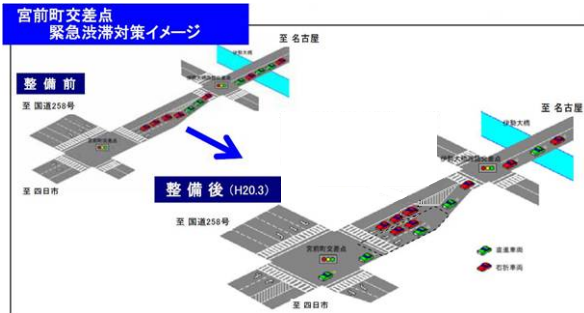
桑名東部拡幅は、桑名市長島町又木～同市北浜町間の延長3.9kmの現道拡幅事業です。

本年度は、伊勢大橋架替関連区間(延長2.1km)について、改良工事、橋梁工事等を推進します。

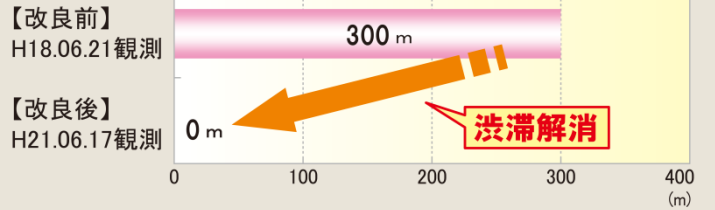


幹線道路の交通混雑緩和・解消

平成 19 年 12 月の宮前交差点改良が完成し、交差点の渋滞が緩和しました。

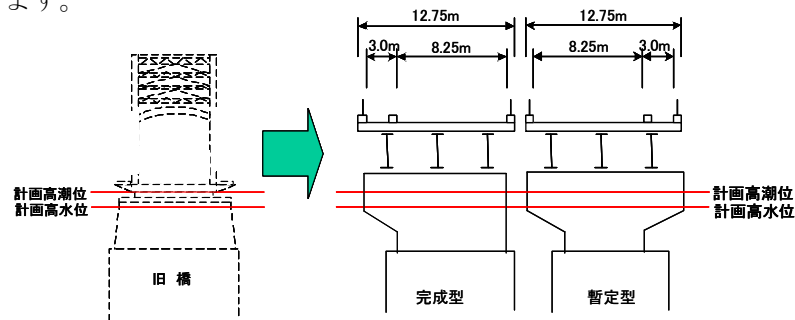


宮前町交差点下り方向の渋滞長変化



安全な生活環境の強化

・新しい橋は、従来と比べ橋が高く橋脚も細くなるため、川の流れがスムーズになり、周辺地域の水害の恐れが少なくなります。



伊勢大橋の老朽化対策

- ・伊勢大橋は、昭和 9 年度（81 年経過）に竣工し、長年の雨水・塩害影響により老朽化が進んでいます。
- ・最新の橋梁の基準に基づいて設計することから、耐震性に優れた橋になります。そのため、地震時の避難経路や緊急輸送路の確保をすることができます。

<中堤上流からの全景>



国道1号北勢バイパス

1. 目的

北勢バイパスは、四日市市を中心とする北勢地域の環状道路として、国道1号・23号等の渋滞緩和、災害に強い道路機能の確保及び地域活性化の支援を目的に計画された道路です。

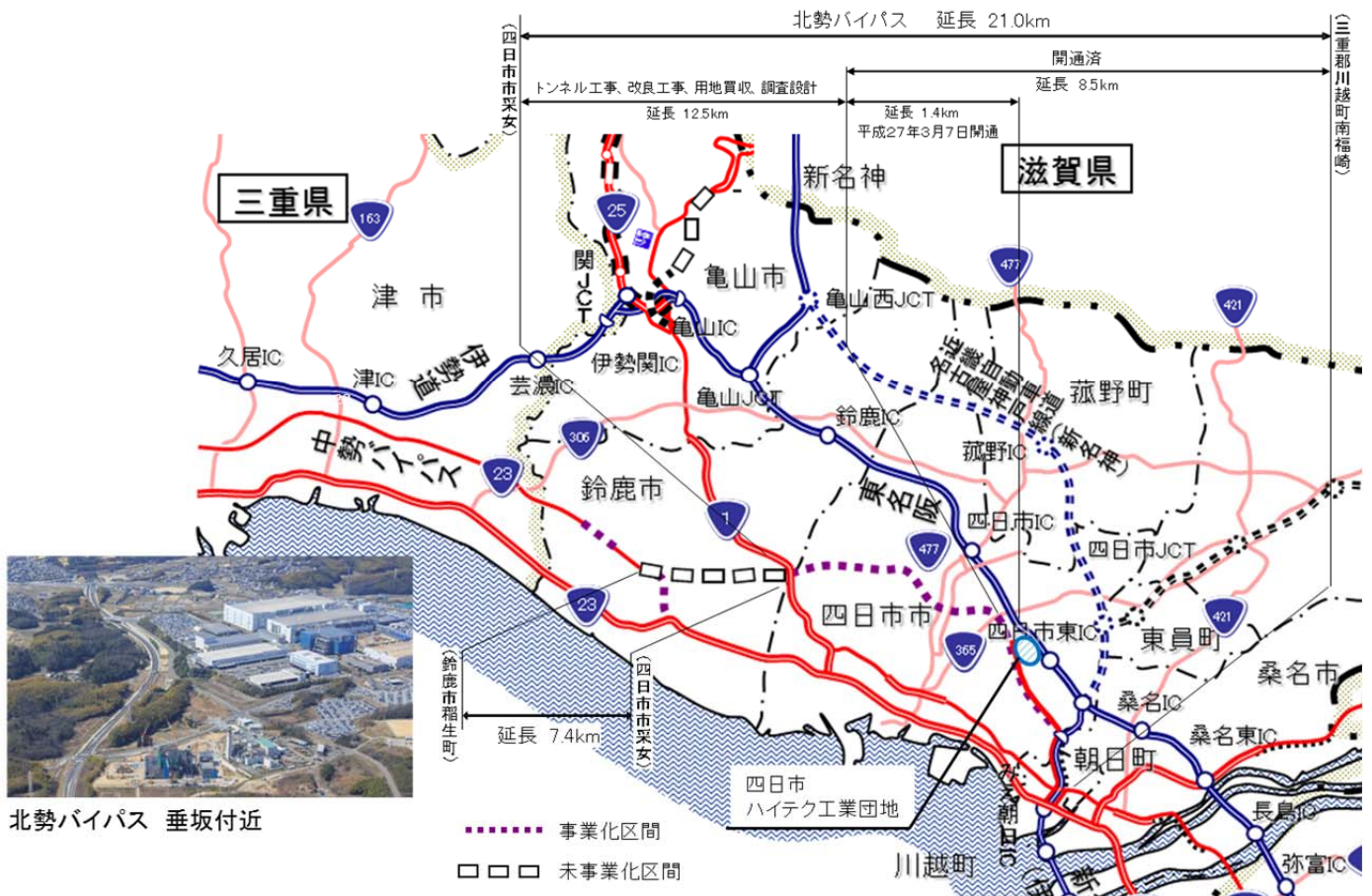
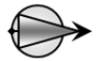
2. 概要

北勢バイパスは、三重郡川越町南福崎（国道23号）～四日市市采女（国道1号）に至る延長約21kmの幹線道路で、現在、みえ川越IC～三重郡朝日町小向（国道1号）までの延長1.2kmを完成4車線で、三重郡朝日町小向～⑤日永八郷線までの延長7.3kmを暫定2車線で開通しています。

本年度は、⑤日永八郷線～国道477号のトンネル工事、改良工事及び用地取得等を進めるとともに、国道477号～四日市市采女（国道1号）間の調査設計を推進します。



北勢バイパス



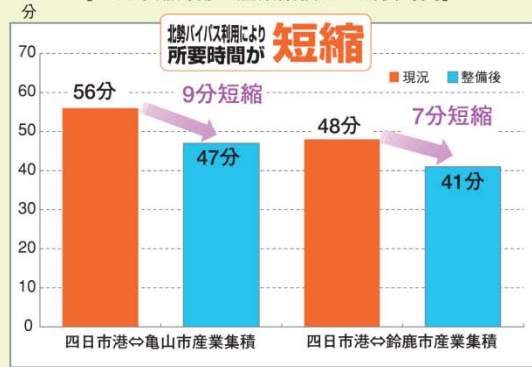
バイパスが整備されると

四日市臨海地帯・産業集積地の連携促進!

北勢バイパスの整備により、円滑な物流の確保による効率化や産業間連携を促進するなど、地域経済の活性化を支援します。



[四日市臨海部⇄産業集積地の所要時間]



現況：H22道路交通センサス混雑時旅行速度より算出
整備後：規制速度（60km/h想定）により算出

通過交通が転換、並行区間の渋滞が緩和!

北勢バイパスの整備により、国道1号、23号からの交通が分散されることで、渋滞緩和が期待されます。



[国道1号・23号の渋滞状況]



[国道1号・23号主要渋滞区間の渋滞損失時間変化]



現況：H22渋滞損失時間データ
整備後：交通量推計を基に算定

[国道1号・23号主要渋滞区間の交通量変化]



現況：H22渋滞損失時間データ
整備後：交通量推計を基に算定

国道1号関バイパス

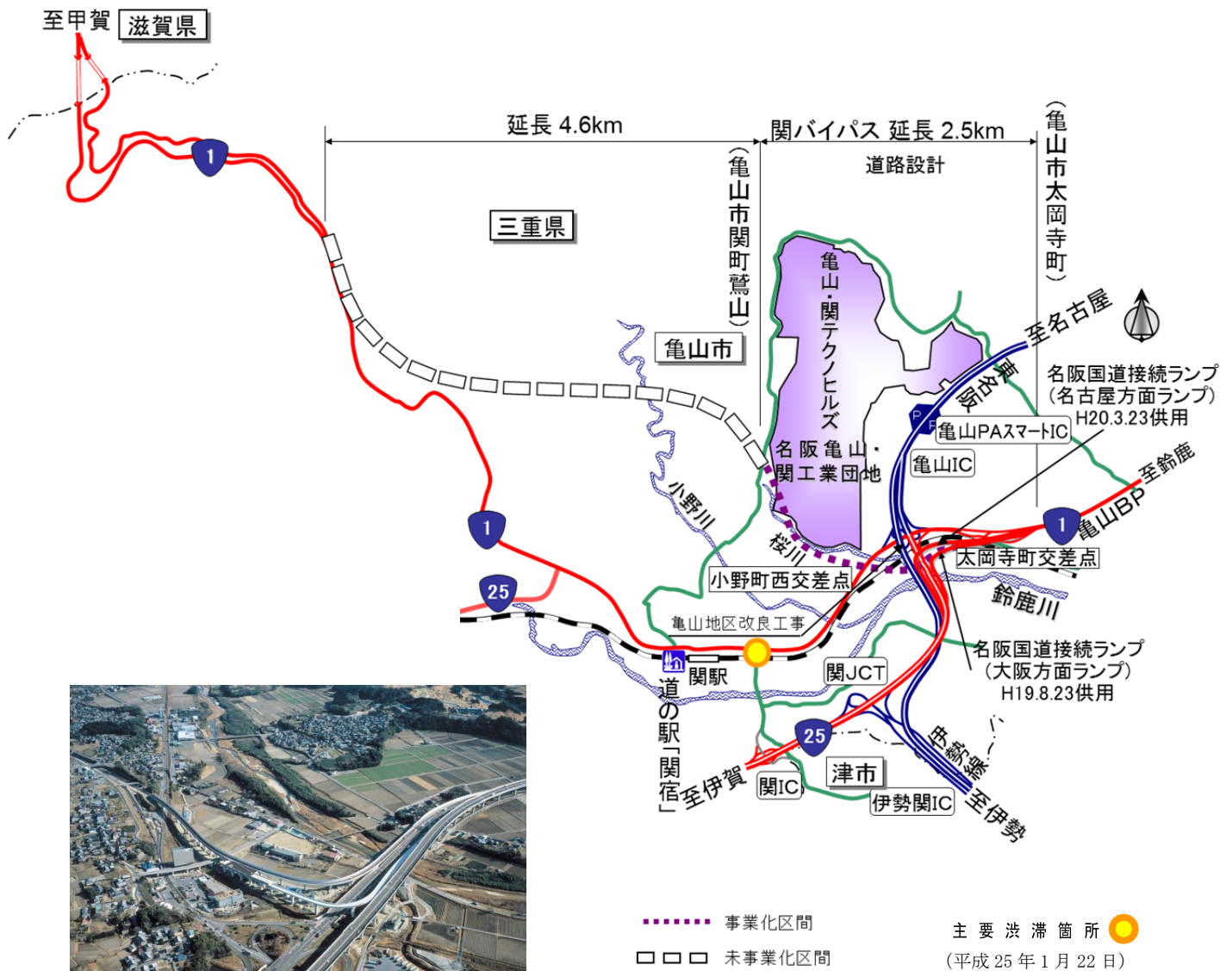
1. 目的

関バイパスは、国道1号の増加する交通量への対応、交通安全の確保を図り、さらには地域発展の核となるプロジェクトの支援を目的に計画された道路です。

2. 概要

関バイパスは、かめやましおのちよう 亀山市太岡寺町～せきちやうわしやま 同市関町鷺山迄の延長約2.5kmの幹線道路で、平成19年度に名阪接続ランプを開通しています。これにより、国道1号太岡寺町交差点の渋滞が緩和されました。

本年度は、かめやましおのちよう 亀山市小野町～せきちやうわしやま 同市関町鷺山間の道路設計等を推進します。



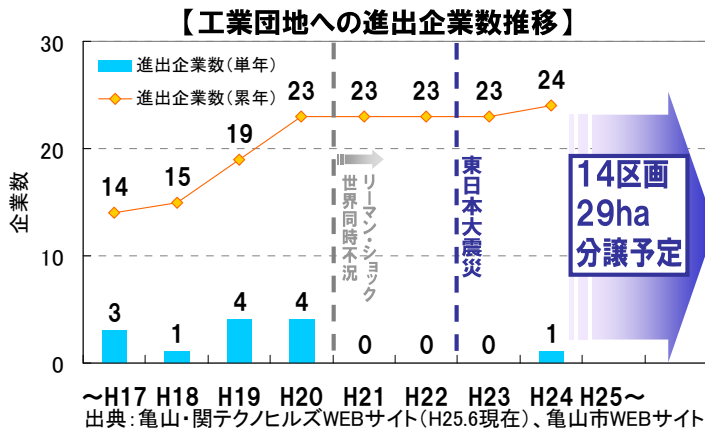
関バイパス 名阪接続ランプ

地域経済の支援

現在の交通状況

平成19年度の国道1号と名阪国道を直結するランプ開通により、太岡寺町交差点の渋滞が改善されました。しかし、亀山市関町市街地の国道1号木崎交差点が主要渋滞箇所となっているなど、日常的に渋滞が発生しています。また、東日本大震災を契機として、災害に対するリスク分散により隣接工業団地への企業進出の動きが顕在化しています。

関バイパスの開通により、交通が分散し、現道の交通混雑が緩和するとともに、工業団地のアクセス性向上に寄与します。



整備効果

◆ 四日市港・コンビナート⇄工業団地間の所要時間

**現況⇒関バイパス整備後
所要時間 7分短縮**

原材料・素材・エネルギー等の搬入時の所要時間短縮

工業団地 ← 現況: 約40分 || 石油化学コンビナート →

7分短縮 ← 整備後: 約33分 ||

製品出荷時の短縮

工業団地 → 現況: 約66分 || 四日市港 ←

7分短縮 ← 整備後: 約59分 ||

※所要時間の算定方法
現況は民間プローブデータ (H23) 一般道路平日12時時間平均速度、
関バイパス整備後は関バイパスを設計速度 (60km/h) にて計測

バイパス整備により地域環境が良好に

- 平成19年度に2本のランプ（連絡路）が完成したことで交通が分散して渋滞が減少。
- 国道1号大岡寺町交差点では、朝夕の交通ラッシュ時に最大渋滞長700m（通過時間7分）の渋滞が発生していました。大阪行きランプに交通量の約5割が転換することで、それらが70m（2分30秒）に短縮しました。



国道25号名阪道路（交通安全関係等）

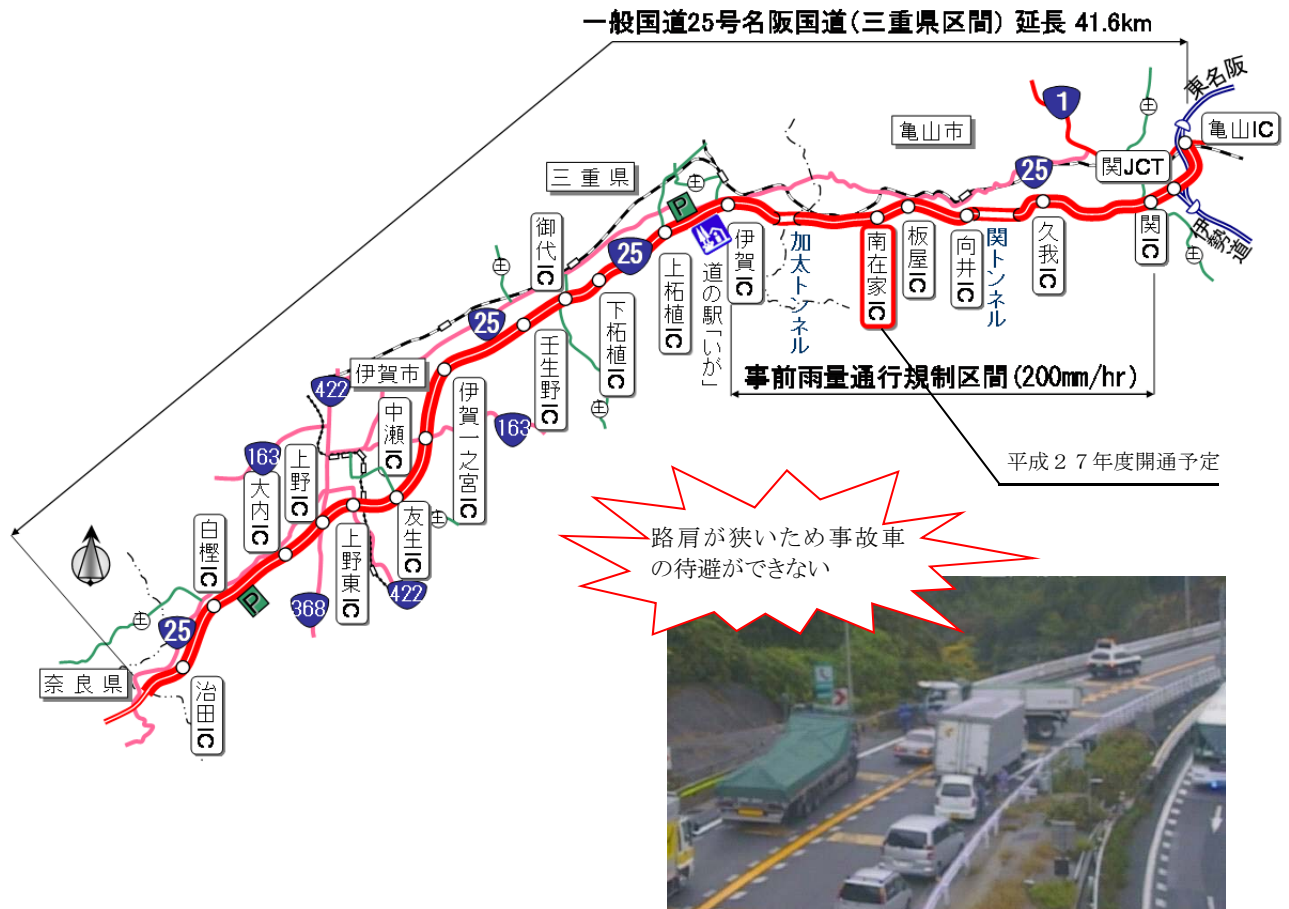
1. 目的

名阪国道は、三重県亀山市から奈良県天理市までの自動車専用道路であり、東名阪自動車道、西名阪自動車道と直結し、国土軸である名神高速道路の代替機能を有する道路です。

2. 概要

国道25号名阪国道は、三重県亀山市太岡寺町～奈良県天理市櫛本町迄の延長約73.2km（三重県内延長41.6km）の一般国道の自動車専用道路として建設され、昭和40年12月に暫定2車線で開通し、昭和55年3月には全線4車線で完成しました。現在は、増加する交通事故等の課題に対処するため、インターチェンジ改良や路肩拡幅等の道路構造の改善を進めるとともに、事前雨量通行規制区間の解除を目指した防災対策や耐震補強及び橋梁の長寿命化を進めています。

本年度は、南在家ICの完成を目指し、インターチェンジ改良を推進するとともに、登坂車線工事、路肩拡幅及び安全施設工事等を推進します。



6万台/日（大型車率50%）の交通が流動する名阪国道。渋滞や事故による通行障害により、生産活動や市民生活に大きな損失を与えている。

交通事故の抑制へ向けて

名阪国道で実施されている主な安全対策

カーブ区間

事前に急カーブを知らせるための看板を設置しています。カーブ以外にも、様々な事前予告看板があります。

夜間もカーブがよくわかるよう、発光したり車のライトに反射したりする視線誘導材を取り付けています。

走行すると振動する段差舗装を設置して、速度抑制を促しています。

直線区間・インター部

スリップ事故が多発している箇所を中心に、滑り止め舗装を実施しています。

速度が出やすい区間の速度抑制や、インター付近での車間確保のため、路面標示を行っています。

インターから合流車両がある時に、電光看板に注意喚起が表示されます。



交通安全対策（ハード）

インターチェンジ変速車線と本線の合流部での事故対策として、変速車線の延伸等を進めています。

対策例：インターチェンジ加速車線の延伸



交通安全対策（ソフト）

インターチェンジ変更車線と本線の合流部での注意喚起として、合流車情報板の設置などを進めています。

その他、事故抑制のため注意喚起の看板設置等を進めています。

又、道路利用者に国道25号名阪国道を安全に走行して頂くために「名阪国道セーフティマップ」「名阪国道死亡事故全国ワースト1脱出作戦」を作成し、配布していきます。



死亡事故件数の高い名阪国道の安全走行を考えるため、地域の代表者、道路利用者、交通・道路管理者、行政による懇談会を平成18年度に設置し、ご意見を聞きながら交通安全対策（ソフト・ハード）を推進しています。



平成25年度懇談会（平成26年3月19日）

延命化・耐震対策

名阪国道は、昭和40年の開通後、40年以上が経過しています。また交通量は飛躍的に伸び、大型車も多いため、舗装はひび割れやポットホール（穴ぼこ）等が発生し、橋梁・トンネルにおいても老朽化が進んでいます。そのため、老朽化した名阪国道の延命化に向けて、維持補修を実施しています。また、橋梁の耐震対策などにより災害に強い安心な道路づくりを推進しています。



〈橋梁耐震対策〉

阪神大震災などの教訓を踏まえ、橋梁の橋脚補強や落橋防止などの耐震補強を実施しています。



〈路面段差対策〉

巨大地震により、橋梁などの背面に段差が発生し、交通に支障がおきないように、踏掛版やプレキャスト版を設置する段差対策を実施しています。



国道258号大桑道路

1. 目的

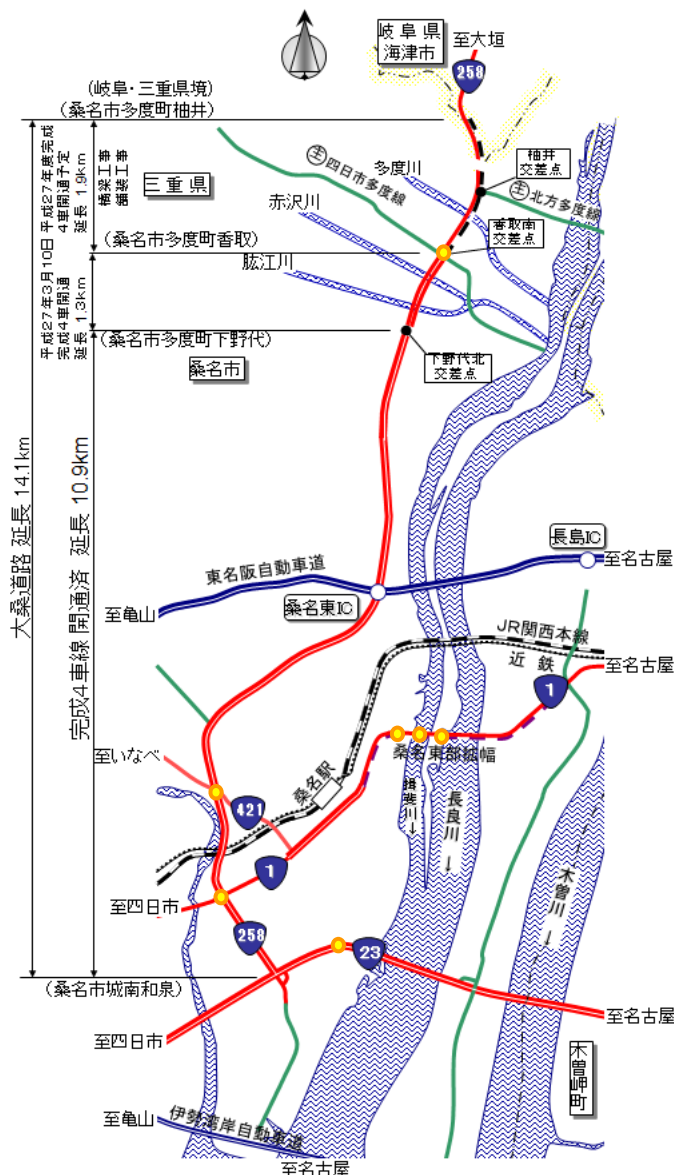
一般国道258号大桑道路は、岐阜県西濃地域と三重県北勢地域間の円滑な交通流確保及び地域開発支援を目的に計画された道路です。

2. 概要

大桑道路は、延長41.6km（三重県内延長14.1km）の幹線道路で、昭和50年度までに全線暫定2車線で開通し、現在は、交通量の増大、車両の大型化に伴い、順次4車線化を進めています。このうち三重県区間の桑名市多度町香取～同市城南和泉迄の延長12.2kmの4車線が完成しています。

また、桑名市多度町柚井～桑名市多度町香取間（延長1.9km）について、平成27年度4車線開通を目指しています。

本年度は、桑名市多度町柚井～桑名市多度町香取間において橋梁上部工事および舗装工事等を推進します。

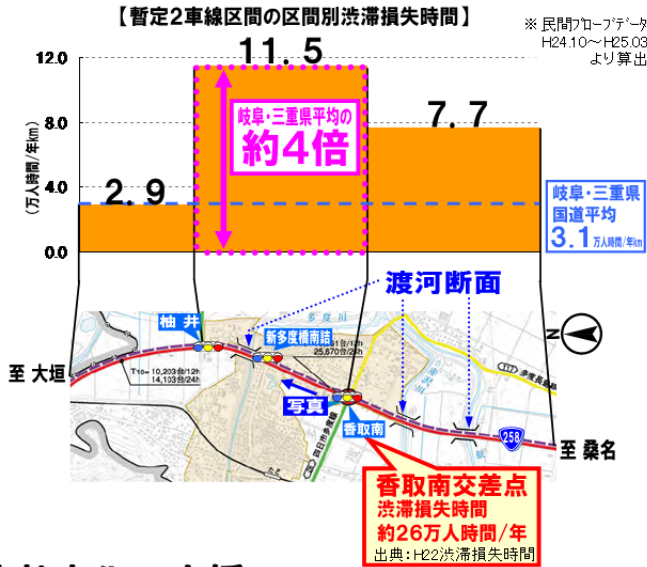


交通渋滞の緩和

国道258号の暫定2車線区間の渋滞損失時間は、岐阜・三重県国道平均の約4倍と高い状態です。桑名市多度町中心部付近の香取南交差点～柚井交差点区間では、約26万人時間/年の渋滞損失時間が発生しています。

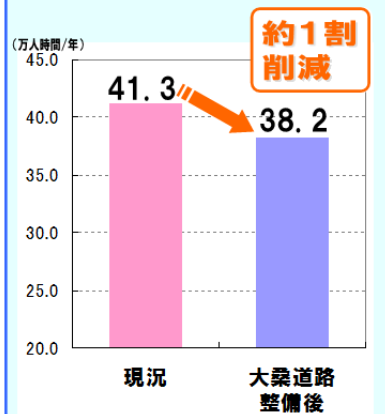
大桑道路の4車線拡幅整備により、渋滞損失時間が約1割削減され、交通渋滞の緩和が図れます。

◆暫定2車線区間の交通状況



整備効果

◆暫定2車線区間の渋滞損失時間削減



※渋滞損失時間の算定方法
現況 (H24) : 渋滞損失時間(民間フローブータより算出)
大桑道路整備後 : 交通量推計により整備あり・なしにおける渋滞損失時間の変化率を求め、現況値に乗じて算定。

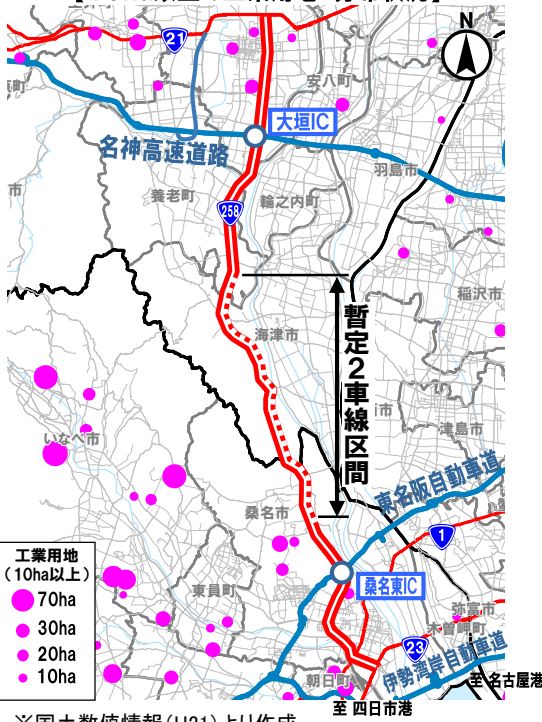
物流効率化の支援

国道258号は岐阜県西濃地域と三重県北勢地域間を結ぶ唯一の幹線道路であるが、暫定2車線区間の主要な交差点を含む区間では、日中において速度低下による交通渋滞が発生しており、輸送の効率性を低下させています。

大桑道路の4車線化整備により、交通混雑が緩和し産業物流における定時制性が確保されるとともに、所要時間の短縮で速達性を高めることで、物流効率化を支援します。

◆国道258号沿線地域の工業用地分布

【10ha以上の工業用地 分布状況】



◆沿線企業における国道258号利用状況

【大垣市:A社(製造業)】

- ・三重県伊賀方面に1日5回、時間指定で輸送している。
- ・国道258号の渋滞を避けるため、大垣から桑名市内は、迂回ルートを利用し、258号は部分利用している状況。

【四日市市:B社(運輸業)】

- ・国道258号は、四日市コンビナートから岐阜県西濃地域や滋賀県等に輸送する唯一のルートである。
- ・配送計画では、現地着時間が指定されており、24時間体制で1台あたり1日2～3往復することとなるが、迂回路がないため、交通渋滞により定時性が損なわれてしまう。

出典：北勢国道事務所ヒアリング調査(H25.8)

整備効果

◆4車線化による定時性・速達性の向上

大桑道路整備後 所要時間14分短縮 定時性の確保



※所要時間の算定方法

現況(暫定2車線)：H22道路交通センサ混雑時旅行度および交通状況調査結果(H25.8)より算出
大桑道路整備後(4車線)：交通量推計により整備あり・なしにおける所要時間時間の変化率を求め現況値に乗じて算出

国道475号東海環状自動車道

1. 目的

国道475号東海環状自動車道のうち、「養老～北勢」区間は、養老山脈に隔てられた岐阜県西濃地域と三重県北勢地域を直結することで、高速交通ネットワークを形成し、地域開発を支援することを目的とし、「北勢～四日市」区間は新名神高速道路と一体となって、三重県北勢地域の道路網の形成、交通結節点である四日市港への集積拡大による活性化、内陸部の適正な開発等を図ることを目的とした道路です。

2. 概要

東海環状自動車道は、延長約160km（三重県内延長23.3km）の一般国道の自動車専用道路で、現在、東回り（豊田東JCT～関広見IC間）区間の延長約76kmと、西回り区間（関広見IC～新四日市JCT間）のうち大垣西IC～養老JCTまでの延長約6kmが開通しています。

三重県内では、平成2年度に北勢IC（仮称）～新名神高速道路に接続する新四日市JCT迄の延長14.4kmを事業着手し、平成19年度に岐阜・三重県境～北勢IC（仮称）迄の延長8.9kmを事業着手しており、東員IC～新四日市JCT間の平成27年度開通、大安IC（仮称）～東員IC間の平成30年度開通を目指しています。



本年度は、以下の事業を推進します。

- 東員IC～新四日市JCT間については、改良工事等を推進します。
- 北勢IC（仮称）～東員IC間については、橋梁上下部工事、道路設計等を推進します。
- 県境～北勢IC（仮称）間については、用地取得及び埋蔵文化財調査を推進するとともに、本線改良工事に向けた準備工事を推進します。

■所要時間の短縮、渋滞緩和

東海環状自動車道の整備により、中京圏の主要都市間の所要時間短縮が見込まれます。

また、環状道路の分散導入・バイパス機能により、高速道路の主要渋滞箇所を避けた通行が可能となるため、環状道路内の高速道路の渋滞緩和が期待されます。

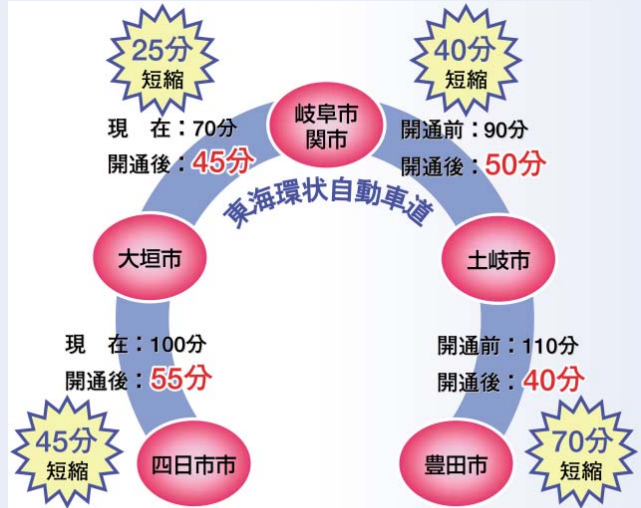
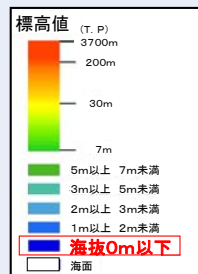


図 東海環状自動車道開通後の沿線都市間の所要時間

■水害に強い高架構造

東海環状自動車道は、強震度予想地域(震度6強以上)や海拔ゼロメートル地帯といった、災害リスクが高い地域をルート構造により回避する計画としています。

また、東海環状自動車道の整備により、被災地域を支援する「くしの歯」の軸に接続する高速道路ネットワークが複数確保され、災害時の広域支援に寄与します。

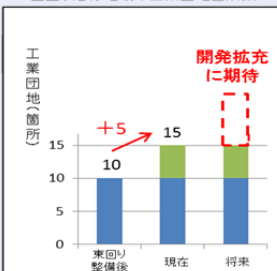


■地域産業の支援

東海環状自動車道の整備により、高速道路 IC からの利便性が向上するため、東回り整備後から現在までに、沿線地域では新たな工業団地の立地による開発拡充が確認できます。

今後、本事業の進捗に伴い、沿線地域では更なる沿線地域の開発拡充により、地域経済活性化が期待されます。

西回り沿線地域の工業団地箇所数



- : 東海環状自動車道東回り開通まで(H17.3)に完成した工業団地
- : 東回り開通後、現在まで(H26.3)に完成した工業団地(分譲中を含む)
- : 計画・構想中
- : 東海環状自動車道未整備のIC10km圏域
- : 東海環状自動車道整備後のIC10km圏域

出典:【完成・分譲中】岐阜県産業情報資料、愛知県産業情報資料、
三重県企業立地資料
【計画・構想】岐阜市計画、大野町計画

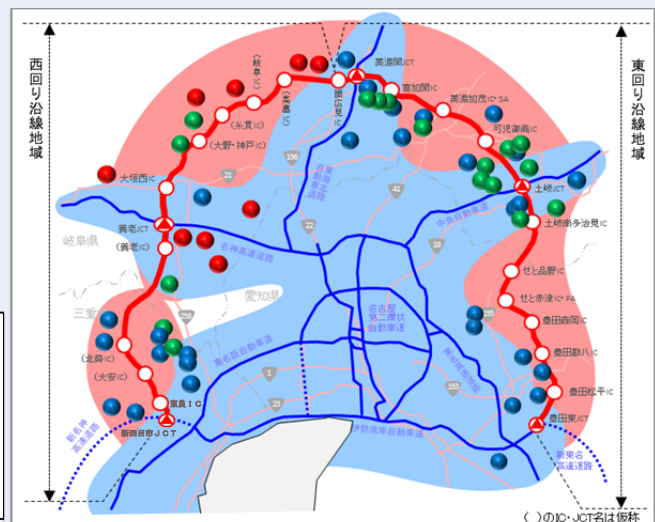


図 東海環状自動車道沿線の工業団地立地状況

○ 諸元一覧

路線名	1号			258号	475号		25号
箇所名	くわなとうぶ 桑名東部拡幅	ほくせい 北勢バイパス	せき 関バイパス	だいそう 大桑道路	とうかいかんじよう 東海環状自動車道(三重県区間)		めいはん 名阪国道
当事務所 事業区間	くわな しながしまちようまたぎ 桑名市長島町又木 きたはまちよう 同市北浜町	み え ぐんかわごえちようみなみふくさき 三重郡川越町南福崎 よっかいちしうねめ ～四日市市采女	かめやまし たいこうじちよう 亀山市太岡寺町～ せきちようわしやま 同市関町鷺山	たどちよう せいの 桑名市多度町柚井 じょうなんいすみ ～同市城南和泉	かめやまし 三重県境～ いなべ市北勢町 ほくせいちよう いなべ市北勢町 ～四日市市北山町	かめやまし たいこうじちよう 亀山市太岡寺町～三 重・奈良県境	
	延長3.9km	延長21.0km	延長2.5km	延長14.1km	延長8.9km	延長14.4km	延長41.6km
	—	計画延長約28.4km	計画延長約7.1km	全線延長41.6km	三重県区間延長23.3km 全線延長L約160km		全線延長73.2km
構造規格 設計速度	第4種1級 60km/h	第3種1級 80 km/h (一部60km/h)	第3種2級 60km/h	第3種2級 (第4種1級) 60km/h	第1種2級 100km/h		第3種1級 60, 80 km/h
標準幅員	幅員30m 4車線	幅員25m 4車線	幅員28m 4車線	幅員22m 4車線	幅員23.5m 4車線		幅員22m 4車線
事業着手	昭和51年度	平成4年度	昭和49年度 平成8年度(復活) 平成15年度(延伸)	昭和40年度	平成10年度 (着工準備) 平成19年度 (着手)	平成2年度	昭和56年度
都市計画決定	昭和26年6月14日 昭和61年1月31日	平成2年12月25日 平成11年8月17日 (一部変更)	平成8年11月5日	昭和40年12月28日 昭和54年2月6日	平成19年4月24日	平成4年1月21日	昭和39年度
工事着手	平成15年度	平成11年度	平成14年度	昭和41年度	平成26年度	平成9年度	昭和56年度
開通区間	平成19年12月13日 みやままちよう 宮前町交差点(下り) 右折レーン2車線化	平成15年3月21日 かわごえちようみなみふくさき 川越町南福崎 ～四日市市広永町 (伊勢湾岸自動車道 重複区間) (L=3.6km) 平成22年3月28日 みえ朝日IC ～(市)大矢知富田線 (L=1.6km) 平成23年3月26日 (市)大矢知富田線 ～(市)上海老茂福線 (L=1.0km) 平成22年3月28日 (市)上海老茂福線 ～(市)垂坂1号線 (L=0.9km) 平成27年3月7日 (市)垂坂1号線 ～(市)日永八郷線 (L=1.4km)	平成19年8月23日 おおさか 大阪行きランプ (オンランプ) (L=0.7km) 平成20年3月23日 なごや 名古屋行きランプ (オフランプ) (L=0.7km)	～昭和50年度 全線 暫定2車線開通 昭和55年度～平成10 年度 かみふかやべ 桑名市上深谷部 ～同市城南和泉 完成4車線開通 (L=9.4km) 平成22年2月15日 たどちようしものしろ 桑名市多度町下野代 ～同市上深谷部 完成4車線開通 (L=1.5km) 平成27年3月10日 たどちようかとり 桑名市多度町香取 ～同市多度町下野代 完成4車線開通 (L=1.3km)	未開通	未開通	(名阪国道L=41.6km) 昭和40年12月 全線 暫定2車線開通 昭和55年3月 全線 完成4車線開通

東海環状自動車道（西回り区間）の整備に



夢を広げるみちづくり、ほくほくネットワーク
国土交通省中部地方整備局

北勢国道事務所

〒510-8013 三重県四日市市南富田町4-6
TEL : (059) 363-5511 (代) FAX : (059) 363-5521 (代)
〒519-0165 三重県亀山市野村4-3-25 (管理課)
TEL : (0595) 82-1312 (代) FAX : (0595) 83-1319 (代)
〒518-0842 三重県伊賀市上野桑町2055 (上野維持出張所)
TEL : (0595) 21-3011 (代) FAX : (0595) 21-9742 (代)

ホームページアドレス <http://www.cbr.mlit.go.jp/hokusei/>

携帯電話用サイト <http://www.cbr.mlit.go.jp/hokusei/keitai/>



北勢国道事務所が実施する事業については上記ホームページでもご覧いただけます



道路施設の損傷、路面の汚れ(油・土砂)、路面の穴ぼこ、落下物など。

携帯電話用サイト
<https://www.cbr.mlit.go.jp/hokusei/keitai/>

※高速道路については、道路名、進行方向、キロポスト、
周辺の施設名等をご確認いただきますようお願いいたします。
※道路交通法により運転中の通話は禁止されています。
安全な場所に停車しておかけください。